


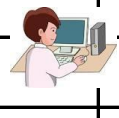


# 綾中ブロック〈家庭学習の手引き〉

# (保護者向け)

ブロック教育目標 自立と貢献 ～ 夢をもち 仲間とともに 未来を切り拓く 子どもの育成

目指す子ども像	夢をもち (将来を見据え、主体的に学び表現する子) 【展望する力】 未来を切り拓く (心身ともに健康で、実践力と行動力のある子) 【挑戦する力】	仲間とともに (豊かな心を持ち、自他ともに大切にできる子) 【つながる力】 綾中ブロックの子 (誇りと郷土愛を持ち、地域とかかわる子) 【貢献する力】
日々の生活の中で	<p>1 基本的な生活習慣が大切である。 早寝・早起き・朝ごはん、ゲームやテレビ・PCは1時間程度まで(家庭でのルールの設定)、携帯電話は買い与えない(持たせる場合は明確なルールが必要)、必ず家庭学習の時間をとります。自分のことは自分でできる。</p> <p>2 見通しを持たせる。…生活の設計(遊びやゲームの時間、お小遣いの使い方なども)や学習計画(学習時間、目標点数など)を大切にします。</p> <p>3 学習は将来役に立つ(有用感)という思いを持たせる。 学習は人生を豊かにし、将来・未来を切り拓いていく力になります。また、将来の夢や目標について考えることが学習意欲につながります。</p> <p>4 知的好奇心を持たせる。 体験することを大切に。(料理を手伝うことは効果大)家族でニュース(テレビ番組)や新聞記事を題材にして会話を深めましょう。</p> <p>5 ものごとを最後までやり切ることの大切さを知らせる。…達成感や充実感、次の取組の活力になります。</p>	
学習時のポイント	<p>1 学習環境を整える。 お子さんが学習する場所を決め、そこを一緒に整理・整頓しましょう。また、お子さんが学習を始める前には、テレビなどを消し、集中できる環境を作りましょう。</p> <p>2 できたことやがんばりをほめ、やりきらせることを大切にする。 子どもたちの特徴の1つとして自尊心(自分のことが好き)が低いことが各種アンケートから見えています。いっぱいほめ、励まし温かく見守りながら根気よく取り組ませましょう。</p> <p>3 子どもとともに学ぶ。 お子さんの音読を聞くことはもとより、周囲の大人も新聞や本を読むなど、一緒に学びましょう。同じ部屋で、ともに学ぶ雰囲気を作ることで学ぶ姿勢が育ちます。</p>	

	就学前 	小学校低学年 	小学校中学年 	小学校高学年 	中学校
時間の目安	30~40分	40~60分	60~90分	90分から120分 (中学3年生の夏以降180分以上)	
学習の特徴	学習というより、遊びや生活の中で、いろいろなことを学んでいきます。物事への興味や関心、意欲や根気、集中力も大切にしたいです。	毎日の宿題をやることや、鉛筆の持ち方、正しい姿勢で机に向かうことや、正しい書き順や字形で書くこと、音読をすらすらすることなど学習のベースとなる力をつける時期です。何事も繰り返し反復することが大切ですが、苦手意識を植え付けないことも大切です。	興味や関心が広がる時期です。それとともに、学習内容が難しくなってきます。算数では、小数や分数といった抽象的な内容が入ってきますし、社会や理科、総合的な学習の時間など、学習が多岐に渡ります。	学習内容が高度化し、論理的に考える力も求められます。資料を読み取る力やまとめる力が必要になります。また、課題や条件に合わせて書く力も求められます。	英語が始まり、教科担任制になり、部活動が始まるなど大きな変化があります。小学校での積み上げや習慣を生かしながら、新しい学習スタイルを築く必要があります。また、進路実現を意識して、長期的なビジョンを持って、計画的に学習を進めることも求められます。
家庭学習の支援(親がすること子どもにさせること)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○基本的な生活習慣を身に付けさせます。</li> <li>○読み聞かせをするなど本(言葉)に親しませます。</li> <li>○親子や家族でのコミュニケーションを大切にします。</li> <li>○体(全身、手足)を動かすことを大切にします。(一緒にすると効果大)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○きちんとやりきらせます。</li> <li>○学習と生活を結びつけて語りかけます。</li> <li>○字を丁寧に書かせます。</li> <li>○読書を通して、多くの言葉に親しませます。</li> <li>○間違った字や問題はきちんとやり直させます。</li> <li>○横で見守りながら明日の準備をさせます。</li> <li>○反復練習につき合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○辞書や地図帳を積極的に使わせます。</li> <li>○根気強く取り組ませやりきらせます。</li> <li>○次の日の予定を合わせます。</li> <li>○読書体験を大切にします。</li> <li>○励まし、ほめて見守ります。</li> <li>○テストで間違った問題をやり直させます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分で計画や目標を立てさせます。(目標達成に向けたアドバイスは必要です。)</li> <li>○読書体験を大切にします。(キャリア教育にもつながります。)</li> <li>○まだまだサポートが必要で、温かく見守ります。</li> <li>○テストで間違った問題をやり直させます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○短期・中期・長期の目標設定と計画を立てさせます。</li> <li>○家庭学習は 国・数・英を毎日、理・社を週1~2回やるような計画を立てさせます。</li> <li>○読書体験を大切にします。読書体験を大切にします。</li> <li>○続けることを大切にさせます。</li> <li>○将来や進路についてともに考えます。</li> </ul>
家庭学習(自主学習)のヒント	<ul style="list-style-type: none"> <li>○友達との集団遊び</li> <li>○集中して取り組む時間</li> <li>○お手伝い</li> <li>○人の話を聞く習慣</li> <li>○思いや考えを自分の言葉で表現</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○すらすらと読める音読(一緒に読むことや音読を聞かせることも効果的)</li> <li>○習った言葉を使えるようにするための教科書の視写や日記</li> <li>○反復練習(計算・漢字など)による自信</li> <li>○日常生活の中で、おつりなどの計算</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○句読点を意識し、気持ちを込めた音読</li> <li>○生活の中で使う、反対語や似ている言葉</li> <li>○小数や分数の計算、漢字を使った熟語集め</li> <li>○都道府県の位置や県庁所在地</li> <li>○天体観測(星座・月)、自然観察(昆虫・花)</li> <li>○理科や社会の教科書の音読、学習内容のまとめ直し</li> <li>○国語辞典や漢字辞典の使い方</li> <li>○分度器、コンパスの使い方</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○場面や人物の気持ちを想像した音読</li> <li>○新聞記事の要約や読んだ感想</li> <li>○部首や画数も意識した漢字練習</li> <li>○テストで間違った問題のやり直し</li> <li>○計算のスピードアップ(小数・分数、概数)</li> <li>○日本の主な山地や川、平野</li> <li>○日本の主な歴史上の事件や人物</li> <li>○世界の主な国々の位置</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○英語への親しみ(書き写し、和訳、英訳)</li> <li>○国語の音読、漢字の練習、数学のその日学習したことは、その日のうちに復習し直します。</li> <li>○理科や社会の教科書の内容をまとめ直します。</li> <li>○テストで間違った問題のやり直し</li> <li>○中学2年生の終盤からは、受験を意識して、1年生からの復習</li> </ul>



